

線路下空洞探査装置



特徴

- ◎線路下の空洞や緩みなどを調査します
- ◎2周波2送信2受信アンテナによる正確な探査が可能です
- ◎測定画像をリアルタイムでディスプレイに表示します

仕様

アンテナ構成	2周波2送信2受信アンテナ
周波数帯域	約50~1000MHz (深度1~2m用)
	約50~1500MHz (深度0~1m用)
測定深度	約2m
測定速度	約2.6km/h
測定間隔	約1.9cm
寸法	約1220×1300×1400mm (軌間内測定時、突起物含まず)
重量	約58kg (軌間内測定時)

装置形態

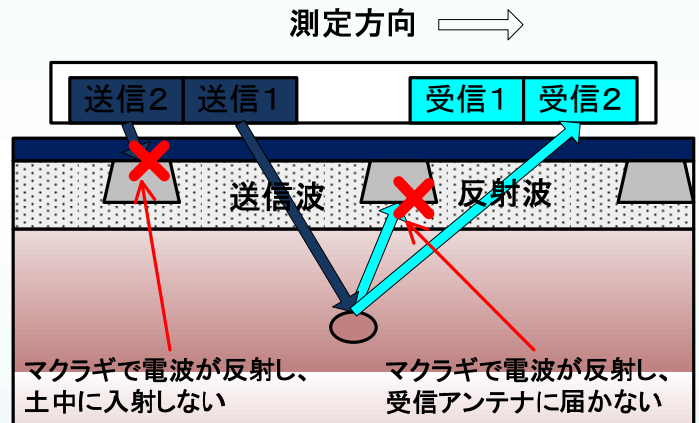
軌間内、軌間外、公道での測定が可能

トロリー形式の構造で、狭軌および標準軌の軌道上を手押しにより走行して、地中の空洞・緩み・配管等を探査できます。

アンテナ構成

2周波2送信2受信アンテナ

送信アンテナ2台、受信アンテナ2台で構成し、マクラギの影響を低減できる配置としています。
また、2種類の周波数帯を採用することにより、深度0～1m、1～2mのそれぞれの深度範囲を正確に探査します。



測定画像

測定画像をリアルタイムに表示

現場で測定画像を確認できます。また、測定画像には受信強度レベルに応じて黄色および赤色のマーキングを表示します。

